



衆議院が解散

岸田内閣は今日14日に衆議院を解散。
福島県議会議員 佐藤義憲と佐藤よしのり
後援会は、これまでの実績や地元への貢献など、さらに今後の会津地方にとって大きな力として益々活躍が期待できる、元復興副大臣の菅家一郎衆議院議員を引き続き主力で支援することを表明します。

菅家一郎氏は、二〇二二年から衆議院議員としてこれまで三期、その間に環境大臣政務官、復興副大臣として国政での要職を務める一方、会津地方の国直轄の事業にかかわる予算の獲得、県事業や市が行う施策に必要な交

付金など、様々な形でその実力を如何なく発揮しています。
例えば、いまや会津若松市民にとっても日常生活で利用することが多い会津縦貫道路の早期事業着手と継続した財源の確保、あるいは若松西バイパスの早

菅家一郎氏を全力で支持

期開通や縦貫北道路と連結する道路（若松北バイパス）の計画化と設計・調査費の確保など市民生活の利便性向上に寄与しています。
東日本大震災から丸十年が経過しましたが、震災直後は、菅家一郎氏は、福島県内への復興財源が浜通りや中通りに集中する事態を避け、会津地方にもグループ補助金の適用を拡大させるなど、地域経済の発展にも力を尽くしてきました。
このように例を挙げればきりがありませんが、地方に住む者にとって市民生活に直接・間接的に影響を与える様々な公共事業を考えたとき、実力を兼ね備えた政治家を中央政界に送り出すメリットは計り知れません。
こうした理由から、市政、県政、国政と連

「かんげ一郎」衆議院議員のこれまでの主な実績（会津若松市限定で抽出）

- 2012年度
会津縦貫南道路／一部国直轄権限代行事業採択
- 2015年度
会津若松市中心市街地活性化基本計画の事業認定
・地域活性化および地域住民生活等緊急支援交付金の会津地域への分配金を獲得
- ・国管かんがい排水事業「会津南部地区」の補助金確保
- 2016年度
会津縦貫北道路／若松北バイパス新規事業採択
- ・阿賀川災害復旧工事（大戸、門田、神指）
- 2017年
鶴ヶ城廊下橋改修工事への国庫補助金
- 2012～2019年度
・若松西バイパス早期開通への継続的な予算確保

公明党を応援 比例区

佐藤よしのり後援会は、菅家一郎衆議院議員を支持するとともに、政権与党として自由民主党と連立を組む公明党を支援することとし、政治課題の解決に必要な「政治の安定」のもと、新型コロナウイルス感染症対策の強化や地域活性化の実現に向け協力して参ります。

携を回り、かつ政権と繋がることのできる菅家一郎氏が引き続き会津のために力を発揮できるように、全力で支援して参ります。

QRコードを読み込んで「かんげ一郎」を応援
↓
読み取るだけの簡単ツイート
読み取るだけの簡単ツイート



9月県議会定例会報告

9月補正予算

290億8,100万円

【補正予算の主な内容】

- 新型コロナウイルス感染症対策（83億7,504万円）
 - ・ワクチン個別接種等促進事業（27億962万円）
 - ・入院医療機関等の設備整備支援（12億5,239万円）
- 令和3年2月福島県沖地震への対応（143億円）
- 震災・原子力災害からの復興（31億9,979万円）



今定例会で可決した条例や意見書

- 犯罪被害者支援条例【新規】
- 自転車利用に関する安全・安心条例【新規】
- 過疎・中山間地域振興条例【一部改正】
- シルバー人材センターに対する支援を求める意見書
- 衆議院議員小選挙区における地域実情を踏まえた区割りの改定を求める意見書
- 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

九月二十一日に開会した九月定例会は、新たな総合計画が議案として議会に提出されたことから、当初の日程に一日追加し十月八日に開会いたしました。

今定例会の審査では、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、感染症で停滞していた社会経済活動を再開するための支援費、そして令和四年度から九年间、県の施策の柱として指針を示す長期総合計画について審議しました。

その審議の過程では、長期総合計画審査特別委員会が会派を代表して質問に立ち、計画策定の経過や県民の皆さんからいただいたパブリックコメント、地域懇談会などの意見を反映した内容、そして計画遂行に向けた推進体制、さつ県民へのメッセージや未来像をどう指し示すのかなど、幅広い視点で答弁を求めました。

また、私が所属している常任委員会の企画環境委員会では、本定例会に議員提出議案として、持続可能な地域振興の視点を盛り込んだ「過疎・中山間地域振興条例」改正案を審議し、提出者である検討会の議員に質問を行いました。

商労文教委員長就任

最終日には、県議会の改選が行われ、私は商労文教委員会の委員長に選出されました。

新型コロナウイルス感染症で地域経済は大きなダメージを負いました。経済支援策や雇用対策をはじめ、現在進行中の県立高等学校改革など、所管委員会の委員長としての職責を全うし、課題解決に努めてまいります。

公立大学法人中期目標調査検討委員会

十月五日、委員の一人として出席していた公立大学法人中期目標調査検討委員会では、取りまとめた意見書を太田光秋議長、青木稔副議長に提出し、それ



ぞれの内容について報告いたしました。

【意見書の内容】

- ①復興・創生の加速化に向けた役割について
- ②新型コロナウイルス感染症への対応について
- ③地域貢献の強化について
- ④社会のニーズを踏まえた人材育成について
- ⑤数値目標の見直しについて
- ⑥その他にSDGsの視点や知的財産権について



— THEドラえもん展
FUKUSHIMA 2021 —

現在、県立美術館（福島市）にて、国内外で活躍する28組のアーティストが表現した様々なドラえもんが展示されています。

先日、休日を利用して観覧してきました。お馴染みのひみつ道具をはじめ、プロジェクトシンマッピングを利用した作品、私には少し理解するのが難しい現代アート表現（笑）など、興味深い作品展でした。

11月23日まで展示されていますので、ぜひ足をお運びください。入場料や開館時間等は県立美術館のホームページをご覧ください。



10月の活動予定

- 【1日】常任委員会
- 【2日】賛全員協議会
- 【4日】常任委員会
- 【5日】公立大学法人中期目標調査検討委員会
- 【6日】長期総合計画審査特別委員会
- 【7日】総括審査会
- 【8日】本会議、閉会
- 【16日】県連必勝祈願祭、選対事務所開き
- 【19日】衆院選巨示日
- 【20日】第70回植樹祭
- 【26日】第31回暴力団根絶県民大会（議長代理）
- 【31日】衆院選投票開票

編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」
金色の稲穂がコンパインの刃に次々と刈られ、軽トラ一杯に積まれた籾は乾燥機へ。毎年恒例の我が家の光景です。概算金が示されたことにより米価下落の影響が懸念されるなか、新潟県産米や山形県のかや姫はその影響をほとんど受けていません。福島県も県のオリジナル品種「福、笑い」によるブランド力の強化が急がれます。